



プロジェクトニュース

シエラレオネ 地域開発能力向上 (CDCD) プロジェクト

「ワークショップ開催しました」号

2017年11月22日号 (Vol.50)

2017年8月22日～23日、今年度のエボラ復興パイロットプロジェクトを実施する3県(ボンバリ県、トンコリリ県、コイナドゥグ県:地図の青色部分)を訪問し、県の職員と共にキックオフミーティングを開催しました。

まず、地方自治開発省/地方分権事務局の Mbalu さんより3県のプロジェクト関係者に対し、改めて CDCD プロジェクトの説明や今後のスケジュールの確認などを行いました。Mbalu さんは今年7月に行われた「市民協働によるまちづくり」をテーマとした本邦研修に参加しましたが、来日した際に購入したと思われる「I♥日本」のロゴの入った T シャツを着てミーティングに臨んでいました！CDCD プロジェクトに対する並々ならぬやる気を感じます！

8月30日には3県のカウンターパート(C/P)を集め、第一回ワークショップ(W/S)を開催しました。このW/Sではパイロットプロジェクトを選定するためのステップ(収集データの整理と問題分析、プロジェクト選定基準の設定、年間計画/開発計画の確認、事業コンセプトの策定など)について説明し、作業を行いました。また、昨年度エボラ復興パイロットプロジェクトを実施したカンビア県、ポートロコ県のC/Pたちが、プロジェクト実施時の経験を3県のC/Pたちに共有しました。彼らの経験談や教訓に真剣に耳を傾け、熱心に質問する3県のC/Pたちの姿と、人に教えることを通じて、事業の計画・実施プロセスとCDCDプロジェクトそのものに対する理解が深まっているカンビア県、ポートロコ県のC/Pたちの様子を見ることができ、とても頼もしく感じました。



シエラレオネ全体図
(★はプロジェクト事務所の所在地)



ボンバリ県議会での
キックオフミーティングの様子



ワークショップの様子①
カンビア県・ポートロコ県の元C/Pたちによる1年次の経験・教訓のプレゼン



ワークショップの様子②
真剣に作業するC/Pたち